

**2023年3月期**

**第2四半期 決算概要**

**アキレス株式会社** (コード番号:5142 東証プライム市場)

**2022年11月11日**

# 1. 2023年3月期 第2四半期 業績

# 1. 2023年3月期 第2四半期 業績 — 連結損益計算書

- 売上高は、北米での医療用の大幅伸長、海外子会社の為替円安による押し上げ、価格改定等により増収
- 当期は、主にエネルギー・原材料価格や物流費の上昇、為替円安に伴う仕入コスト増加の影響により営業損失
- 経常利益は、円安に伴う外貨建資産に関する為替差益が増加するも減益
- 8月9日の修正公表値に対し、利益面はコスト削減や価格改定に注力したことで予想を上回る

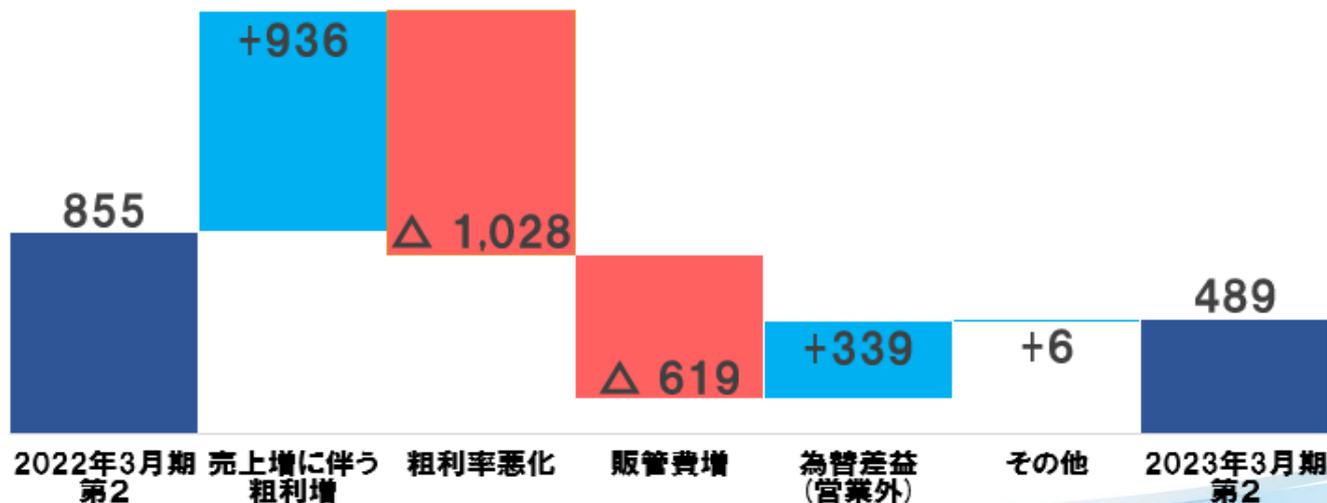
(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期比		8/9予想 第2	予想比 増減額
	第2	売上比	第2	売上比	増減額	増減率		
売上高	36,431	-	40,800	-	4,369	12.0%	41,000	△199
売上総利益	7,801	21.4%	7,709	18.9%	△ 92	△1.2%		
販売費及び一般管理費	7,193	19.7%	7,812	19.1%	619	8.6%		
営業利益(△損失)	608	1.7%	△102	△0.3%	△ 710	-	△ 1,200	1,097
経常利益	855	2.3%	489	1.2%	△ 366	△42.8%	△ 700	1,189
親会社株主に帰属する 四半期純利益	515	1.4%	166	0.4%	△ 348	△67.7%	△ 700	866
1株当たり四半期純利益(円)	32.83		10.73		△ 22.10		△ 44.98	

# 1. 2023年3月期 第2四半期 業績 — 経常利益の増減分析

単位:百万円

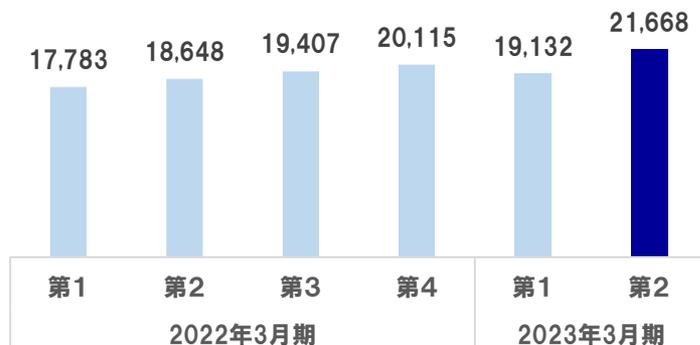
経常利益 前年同期比  $\Delta 366$



# 1. 2023年3月期 第2四半期 業績 — 四半期別推移

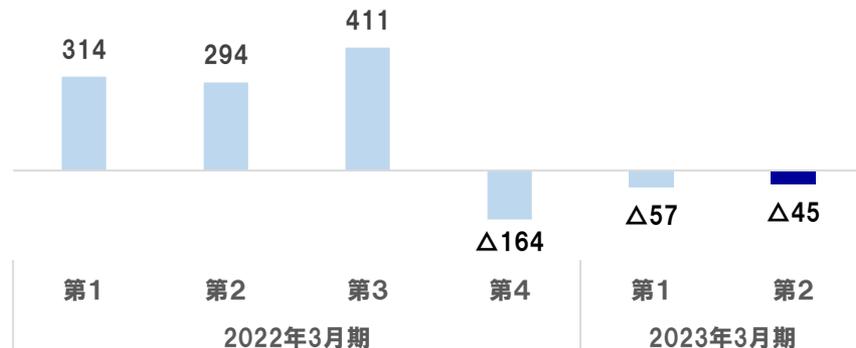
## 売上高

(百万円)



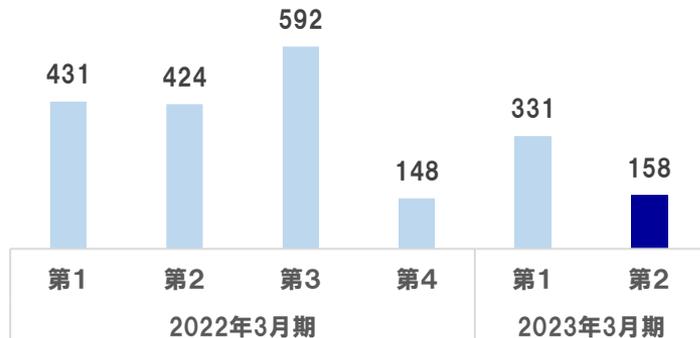
## 営業利益(△損失)

(百万円)



## 経常利益

(百万円)

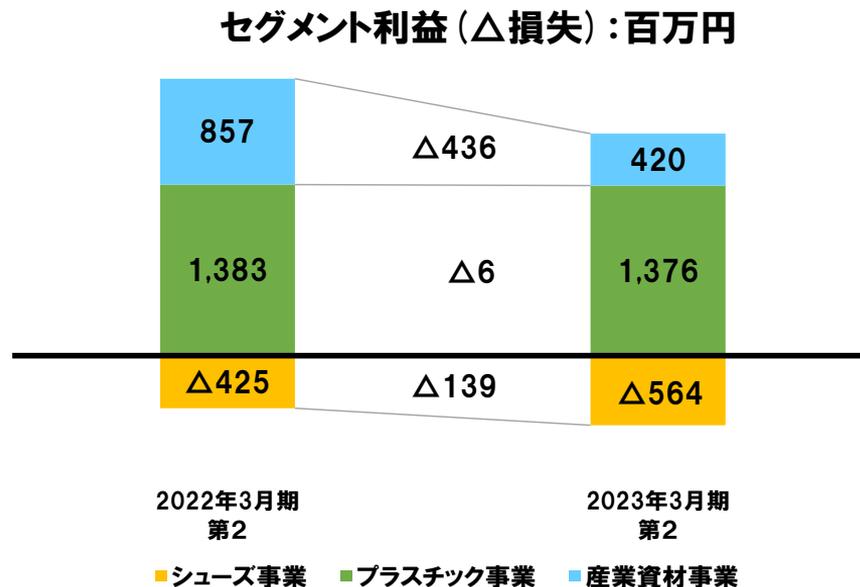
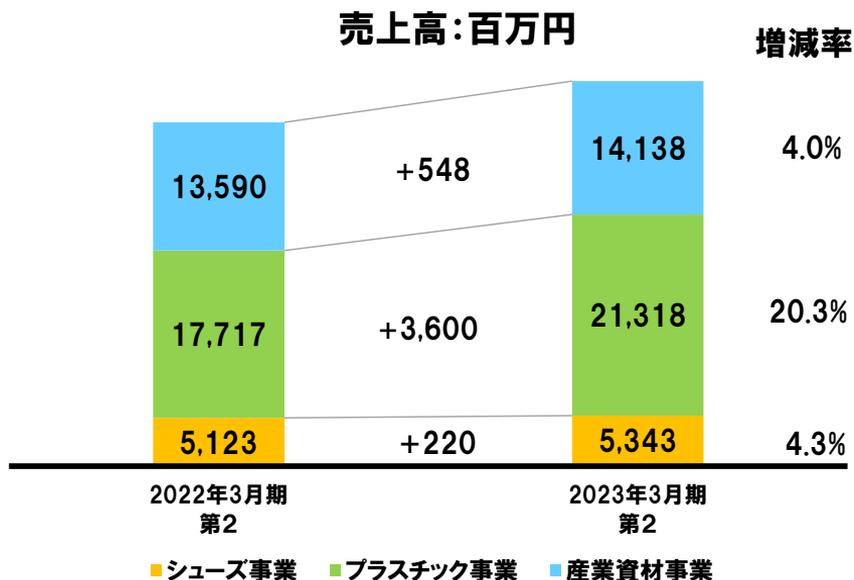


## 親会社株主に帰属する四半期純利益

(百万円)



# 1. 2023年3月期 第2四半期 業績 — セグメント情報



- シューズ事業は市況の回復もあり、大人・子供・ランニング用が好調に推移
- プラスチック事業は北米で医療用フィルムが大きく伸長。建装資材も新柄が好調。車輦内装用資材は自工メーカーの減産影響から回復基調。
- 産業資材事業は戸建用等の断熱材が伸長。半導体分野向けウエハー搬送用部材も国内・外で好調に推移

- シューズ事業は販売費の削減や価格改定に努める中、為替円安に伴う仕入コスト上昇の影響大きく損失拡大
- プラスチック事業ならびに産業資材事業は一層のコストダウン活動や価格改定に努める中、原材料価格や物流費上昇の影響により減益

# 1. 2023年3月期 第2四半期 業績 — 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2022年3月期	2023年3月期 第2	前期末比 増減額
流動資産	44,428	49,979	5,550
有形固定資産	25,499	27,501	2,002
無形固定資産	400	445	45
投資その他の資産	9,795	9,621	△174
資産合計	80,123	87,547	7,424
流動負債	24,406	26,133	1,727
固定負債	7,988	12,569	4,580
負債合計	32,395	38,703	6,308
純資産	47,728	48,844	1,116
負債・純資産合計	80,123	87,547	7,424
自己資本比率	59.6%	55.8%	△3.8%
一株当たり純資産(円)	3,049.81	3,169.76	119.95

- 現金及び預金 1,969
- 売上債権 771
- 棚卸資産 2,206

- 建設仮勘定 1,226
  - 内、中国子会社【阿基里斯佛山】関連 987
- 建物及び構築物 629

- 仕入債務 1,564
- 短期借入金 700

- 長期借入金 4,500
  - 国内・外 設備投資案件対応

- 利益剰余金 △ 459
- 自己株式 △ 322
- 為替換算調整勘定 1,987

## 2. 2023年3月期 業績予想

## 2. 2023年3月期 業績予想 – 8月9日の修正公表値から変更なし

- 第2四半期の業績において利益面が予想を上回る結果となったものの、エネルギー・原材料価格や為替の動向、新型コロナウイルス感染症の影響等が依然として不透明であることから、現時点で通期の業績予想は変更しない
- 全社的なコストダウン活動への取り組みと価格改定の一層の推進により、収益性の早期改善を図る

2022/8/9修正公表 (単位:百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	前期比 増減額
売上高	75,953	86,000	10,047
営業利益	855	100	△755
経常利益	1,595	800	△795
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,525	200	△1,325

配当金

40円  
(期末)

40円  
(期末)



マモルを  
ツナグ。

足を守る。農作物を守る。安眠を守る。  
半導体を守る。医療を守る。道路を守る。  
古墳を守る。体を守る。空間を守る。  
家を守る。ビルを守る。生命を守る。  
美味しいを守る。美観を守る。  
DXを守る。インフラを守る。  
健康を守る。環境を守る。  
安心を守る。安全を守る。快適を守る。  
私たちアキレスは、製品をつくるだけでなく、  
さまざまな「マモル」を  
新しい価値としてつないでいく。

そして、笑顔も守る、  
社会も守る、未来も守る。  
つなぐのは、アキレスです。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。